

国策の制定

黒田インターナショナル

黒田 毅

国家千年の計は、心を尋ね、現実を有する。

現状の世界の現実へ、政治の自己プレゼンスは、新しい国家の決定を可能とする。技術とシステムの進歩は、現状の一千年に一度の産業革命と共に、未来を要求する。

これらは既存の社会システムの転換が必ず要求され、社会と生活の転換を政治の決定において可能とする。また新しい政治環境の整備は、国家の刷新を実現できる。

外交と財政において国家が新しい国策を掲げることは新たな国家構築への転換を可能とする。自国が有する文化的遺産は、その優れたものを受け継ぎ、時代に適合しないものは排除し、新しい国家を求めることができる。

国家は唯一国民において与えられることから、国民生活と社会への新しい合意は、等しく新しい国家を与えるものである。

これは明治維新に勝る自己変革を、政権交代でなく、自己選択と決定において要求されるものである。

国家は唯一誠実さを基盤とし、その可能性を実現できるものである。